



2020年3月期 第1四半期 決算説明資料

ジオホールディングス(2681)

GEO HOLDINGS CORPORATION

August 8 .2019



本資料の記載内容

- 1 2020年3月期 第1四半期 連結業績
- 2 2020年3月期 第1四半期 商材別実績
- 3 ゲオグループの取組み
- 4 配当・株主還元
- 5 補足資料

2020年3月期 第1四半期連結業績

1

売上総利益は前期を上回るも、利益は減少

・ 2020年3月期第1四半期：連結損益計算書

売上高前年同期比99.2%、売上総利益前年同期比102.2%と前年水準を確保するも、販売管理費の増加により、営業利益・経常利益は、前年同期比69.9%・61.9%と前年同期を下回る結果となりました。

単位：百万円	19.3月期 1Q実績	20.3月期 1Q実績	増減	前期比
売上高	64,425	63,918	▲506	99.2%
売上総利益	29,093	29,728	635	102.2%
(売上総利益率)	45.2%	46.5%		
販管費	25,368	27,126	1,758	106.9%
営業利益	3,724	2,602	▲1,122	69.9%
(営業利益率)	5.8%	4.1%		
経常利益	4,524	2,802	▲1,722	61.9%
四半期純利益※	2,781	1,505	▲1,276	54.1%

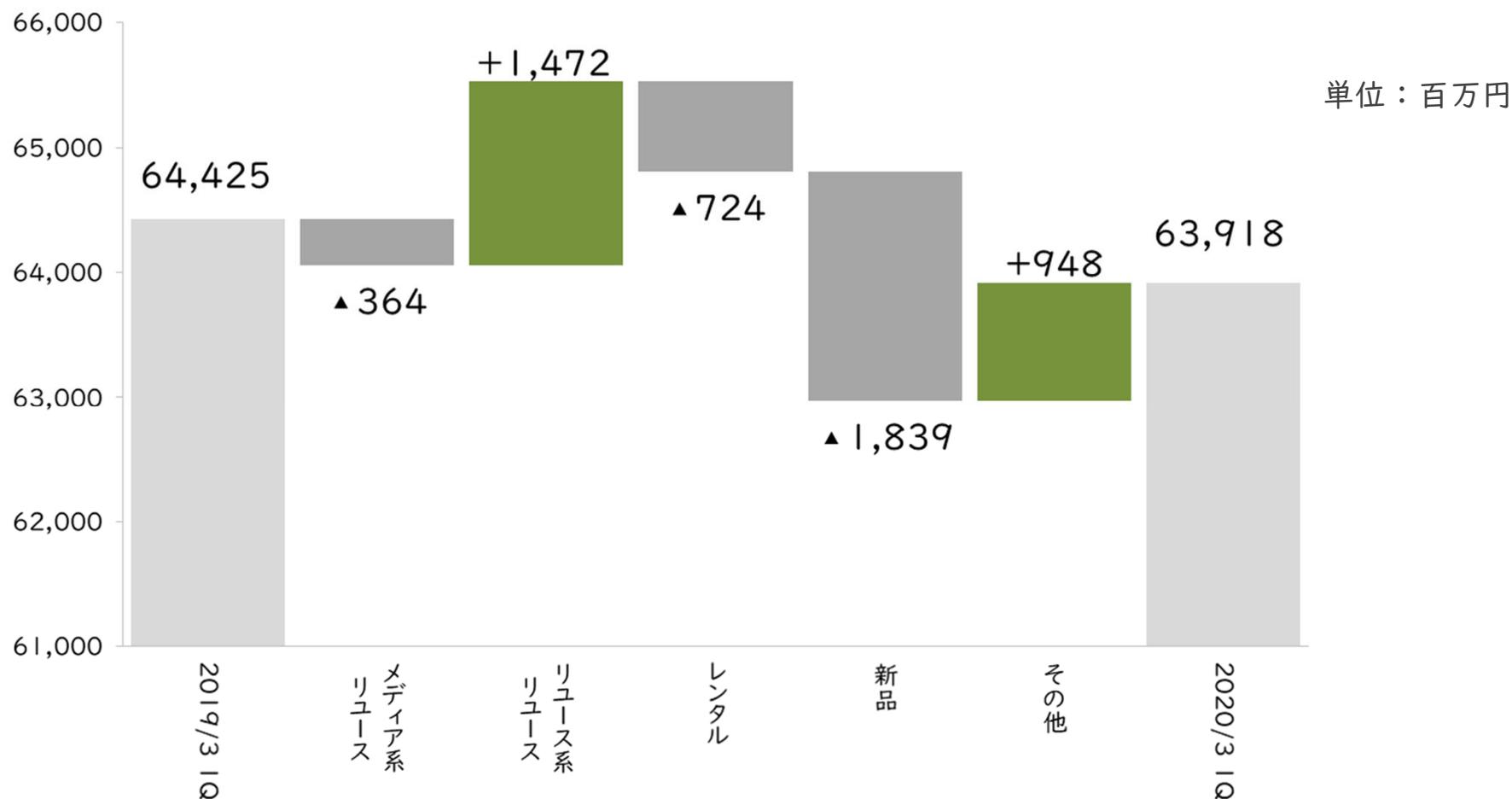
※四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益

1

新品商材売上が低調なことにより売上高微減

- ・ 2020年3月期第1四半期：売上高前年同期比増減

映像レンタルの下降トレンドは継続しており、売上を牽引するようなゲームソフトの有力タイトルの発売もなく新品商材も低調に推移したことから売上高は微減。

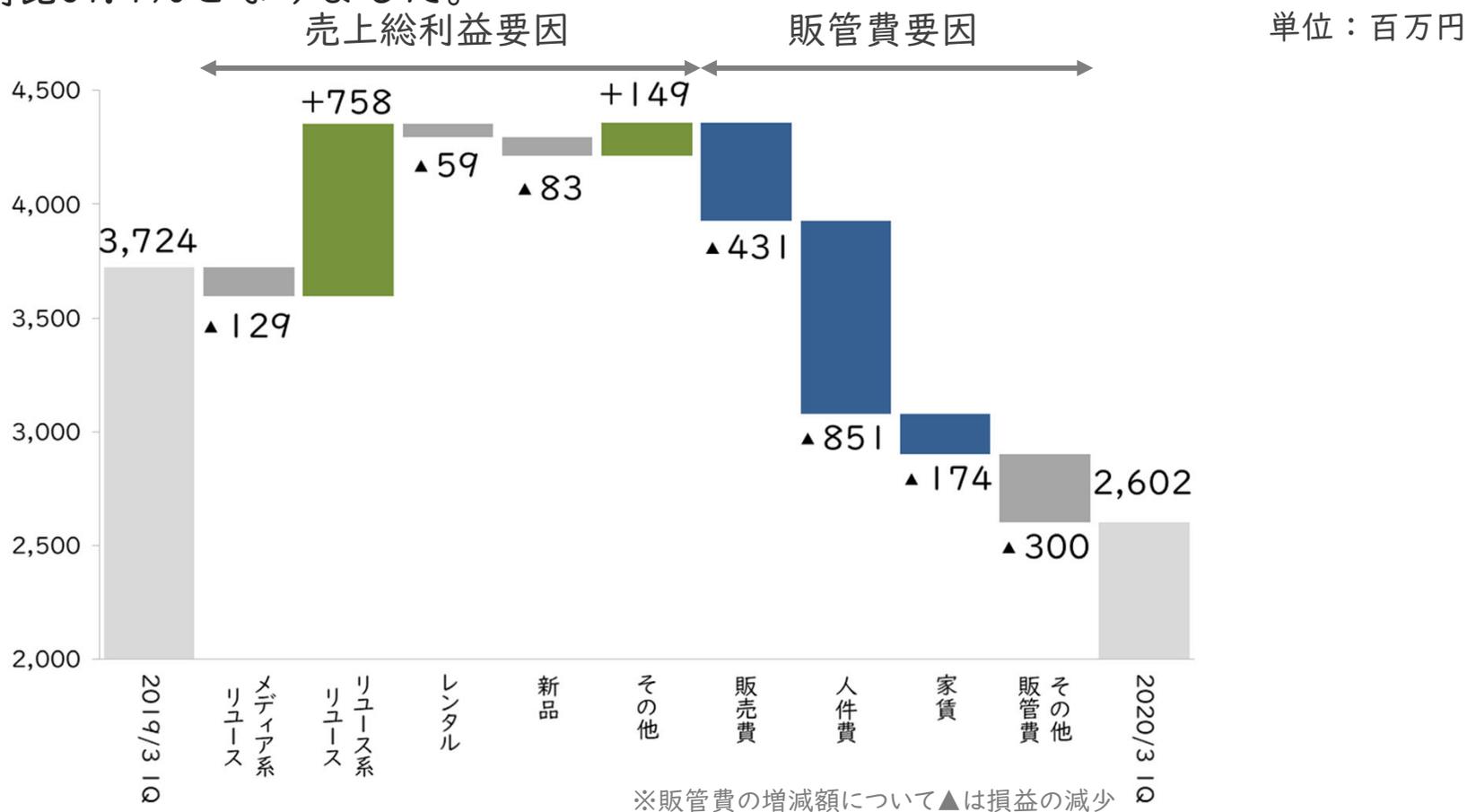


1

販管費増加により営業利益減

・ 2020年3月期第I四半期：営業利益 前年同期比増減

「リユース系リユース」商材の順調な売り上げ増加を背景に売上総利益は前期を上回りましたが、新規出店による人件費や地代家賃等の増加により、営業利益は前年同期比69.9%となりました。



1

プロモーション強化による広告宣伝費増

需要喚起のためのテレビCM等のプロモーション活動を強化したことにより広告宣伝費が前期に比べ大幅に増加いたしました。

今後予想される人件費単価増に対応すべく店舗のオペレーション効率化及び売上高販売管理費比率のコントロールに継続的に取り組んでおります。

単位：百万円	19.3月期		20.3月期		増減	(前期比)
	1Q実績	(売上比)	1Q実績	(売上比)		
販売費計	2,008	3.1%	2,439	3.8%	431	121.5%
広告宣伝費	516	0.8%	897	1.4%	380	173.7%
販売促進費	134	0.2%	113	0.2%	▲21	84.4%
人件費計	13,024	20.2%	13,876	21.7%	851	106.5%
その他諸経費計	10,335	16.0%	10,810	16.9%	475	104.6%
水道光熱費	800	1.2%	785	1.2%	▲14	98.2%
地代家賃	5,430	8.4%	5,604	8.8%	174	103.2%
減価償却費	863	1.3%	917	1.4%	53	106.2%
備品消耗品費	455	0.7%	491	0.8%	35	107.8%
修繕費	162	0.3%	165	0.3%	2	101.6%
販管費計	25,368	39.4%	27,126	42.4%	1,758	106.9%

販管費の増減額について▲は損益の増加

2020年3月期第1四半期 商材別実績

2

既存店リユース系リユース商材の伸長継続

・ 商材別売上高（1Q）

有力な新作タイトル不足によりゲーム機本体とゲームソフトを中心とする新品商材並びにメディア系リユース商材売上高は低調でした。

一方、「リユース系リユース」商材の既存店売上は前期に引き続き好調な推移が続いております。

単位：百万円	19.3月期 1Q実績	20.3月期 1Q実績	前期比	増減額
リユース	25,421	26,530	104.4%	1,108
メディア系	13,278	12,914	97.3%	▲364
リユース系	12,142	13,615	112.1%	1,472
レンタル	15,508	14,784	95.3%	▲724
新品	15,575	13,736	88.2%	▲1,839
その他	7,919	8,867	112.0%	948
合計	64,425	63,918	99.2%	▲506

2

商材構成比の変化により、売上総利益は増加

・ 商材別売上総利益（1Q）

「新品」商材はリユース商材に比べ粗利率が低く、売上高減少による利益影響の全体インパクトは薄いものとなりました。

粗利率の高い「リユース系リユース」商材の伸長は継続しており、商材構成比が変化したことにより前期を上回る売上総利益（粗利）を確保しました。

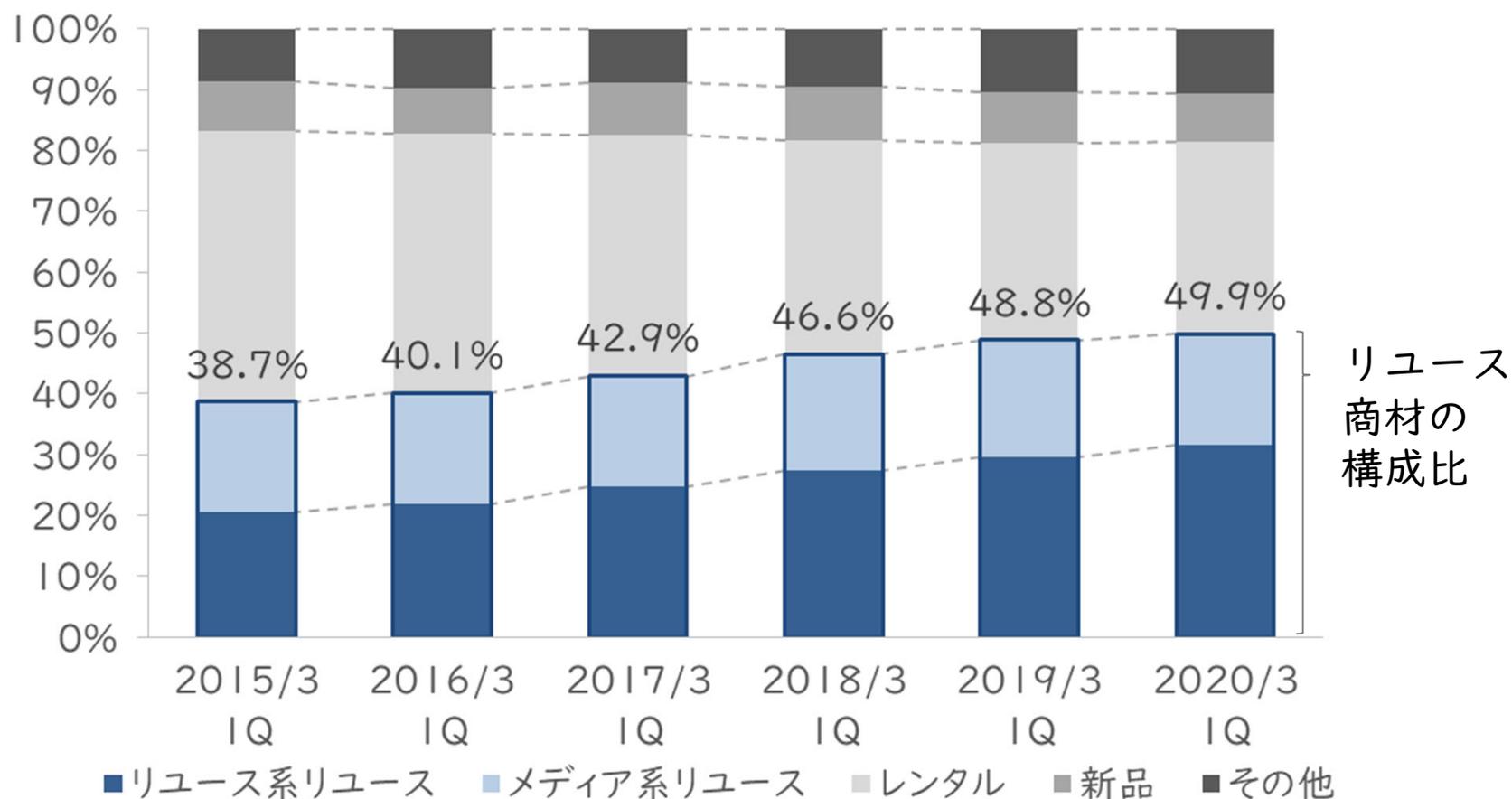
単位：百万円	19.3月期 1Q実績	20.3月期 1Q実績	前期比	増減額
リユース	14,198	14,827	104.4%	629
メディア系	5,556	5,427	97.7%	▲129
リユース系	8,641	9,400	108.8%	758
レンタル	9,420	9,361	99.4%	▲59
新品	2,462	2,379	96.6%	▲83
その他	3,011	3,160	105.0%	149
合計	29,093	29,728	102.2%	635

2

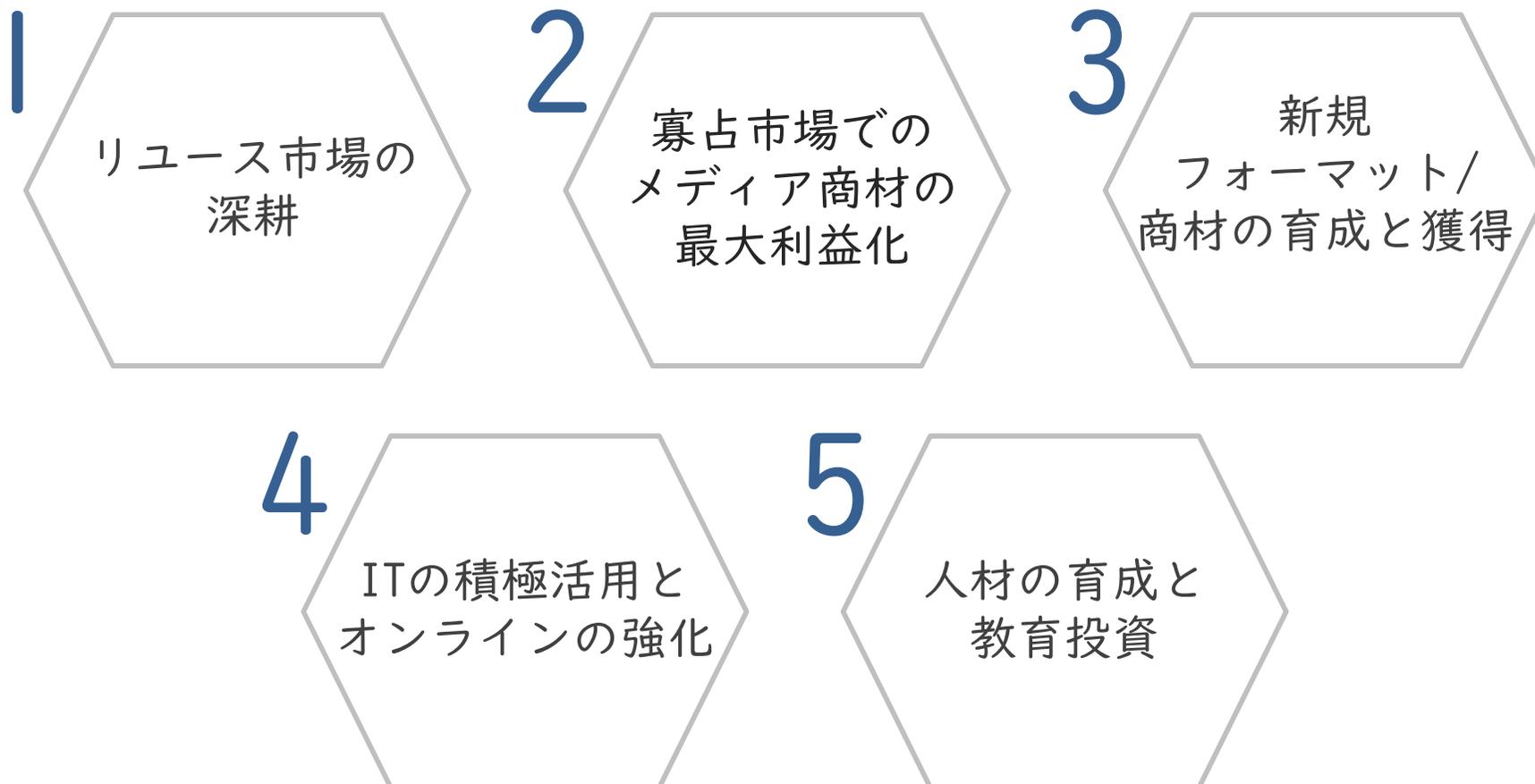
当社グループの売上総利益（構成比）の変化

・ 商材別売上総利益構成比（1Q）

「リユース」商材の構成比が年々高まり、前期に比べて+1.1ポイント増加し、売上総利益の49.9%を占めることとなりました。



ジオグループの取組み



3

ジオグループ店舗数の状況

・ 総店舗数 1,884店

	2019年 3月末	2019年 6月末	増減
ジオグループ店舗施設	1,878	1,884	6
小売サービス店舗	1,866	1,873	7
 ジョショップ	1,203	1,194	▲9
直営店	1,026	1,024	▲2
代理店・FC店	177	170	▲7
 ジョモバイル	17	21	4
 セカンドストリート※	630	636	6
直営店	578	584	6
FC店	52	52	0
その他	16	20	4
 アミューズメント施設	12	13	1



セカンドストリート下北沢店楽器館（東京都世田谷区）

※ スーパーセカンドストリート・ジャンブルストア・セカンドアウトドア・買取専門店等を含む

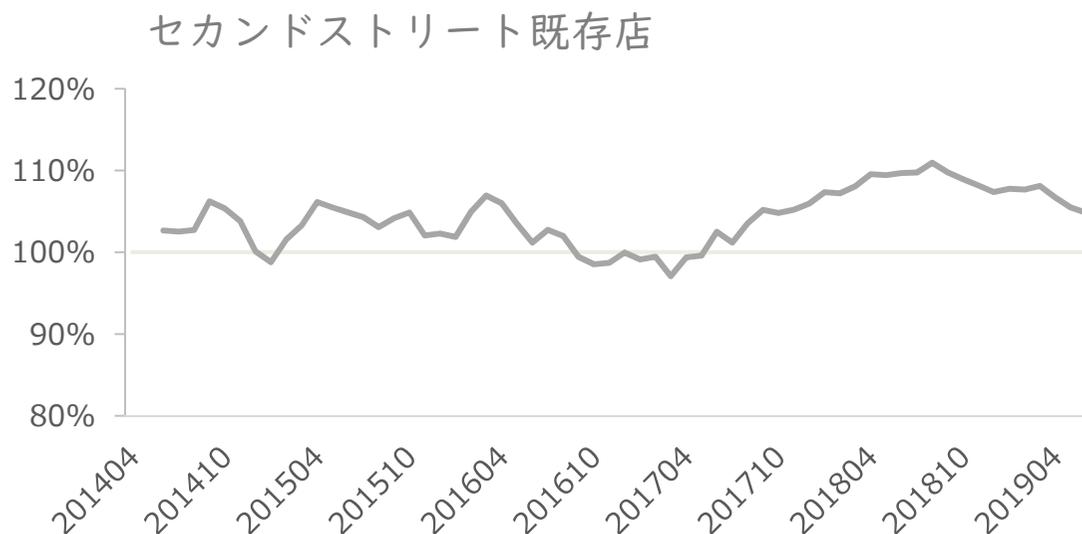
3

リユース市場の深耕①

・リユース系商材の既存店売上高伸長継続

リユース市場の伸長と店舗数増加による「セカンドストリート」ブランドの認知向上を背景に、既存店売上高は好調な推移が続いています。総合リユース業態のほか、アウトドア専門店、楽器専門店等の専門店業態での出店も加えることにより、リユース市場の深耕を続けております。

既存店売上高前年比の推移（3ヶ月移動平均）



セカンドアウトドア川沿店（札幌市南区）

3

リユース市場の深耕②

- ・中古携帯（スマートフォン・タブレット）へのアクセス基盤整備

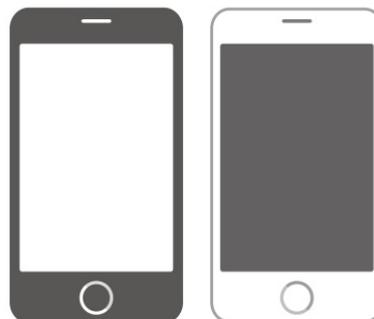
中古携帯をゲオショップ・ゲオモバイルショップを中心とした店舗網とECサイトでお届けしております。人材教育継続と専門スタッフ配置拠点数拡大で、規模の拡大を想定する中古携帯市場を牽引していきます。

専門スタッフ（人）

689 ◀ 625

2019年6月時点

2019年3月時点



専門スタッフ配置拠点数（店）

165 ◀ 153

2019年6月時点

2019年3月時点



※専門スタッフとは、モバイル知識を有し、お客様のニーズに合ったモバイル商品のご案内や格安SIMなどの料金説明が出来る当社基準を満たした従業員です。

・プロモーション活動

全国に張りめぐらせたメディアショップ網を活かすべくテレビCM・web広告・折込チラシ等の各媒体において積極的な広告宣伝活動を行い、寡占化が進む市場の中でシェア拡大を図りました。



・ 全店統一レンタルセール（期間：5月31日～6月2日）

・即金買取アプリ

手間や時間をかけずにより早く査定をして欲しい、早く現金化したい、売りたいがお店に行く時間がない、といったお客様のニーズに応え、累計15万ダウンロード達成、今後は買取対象商品をゲーム以外にも広げ、お客様の利便性を高めてまいります。



3

ITの積極活用とオンラインの強化

当社のサービスのうち、小売サービスにおける電子商取引が関与した売上高を比較。



単位：百万円	19.3月期 1Q実績	20.3月期 1Q実績	前期比
EC関与売上高	2,104	2,746	130.5%
EC関与販売数	434,015	674,661	155.4%

EC併売等お客様が求めるシームレスなサービス提供基盤整備に努めてまいります。

3

新規フォーマットの開発



Luck・Rack CLEARANCE MARKET

(ラック・ラック クリアランス マーケット)

Luck・Rack
CLEARANCE MARKET

OPS (オフプライスストア) 業態とはアパレルメーカーの生産余剰品やシーズンオフ品などを仕入れて、店内商品全てをいつでもセール価格で提供する業態です。

4月横浜市都筑区での1号店出店に続き、7月に大阪府八尾市に2号店を出店し、チェーン展開を進めております。



ラック・ラック クリアランス マーケット八尾店 (大阪府八尾市)

株式会社おお蔵の株式取得

おお蔵は、高級時計、ブランドバックなどの卸売業、オークション市場の運営を行っているほか、2店舗の買取・販売店舗を運営しており、同社の持つラグジュアリー(高級)ブランドのリユース商材調達力をグループに取り込むことにより、リユース市場におけるラグジュアリー商材部門においてもNo.1を目指してまいります。



おお蔵 新宿歌舞伎町店 (東京都新宿区歌舞伎町)

配当・株主還元

4

配当方針

株主に対する利益還元を経営の重点課題の一つと認識し、安定的な経営基盤の確保と利益率の向上に努めるとともに、安定的な配当を行うことを基本方針としております。

分割調整後の1株当たり配当額推移



4

自己株式の取得

2019年6月28日に、自己株式取得について決定し、公表いたしました。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 1,540,000株 (上限) |
| (自己株式を除く発行済株式総数に対する割合) | 3.51% |
| (3) 株式の取得価格の総額 | 20億2千万円 (上限) |
| (4) 取得期間 | 2019年7月1日 ~ 2020年3月24日 |

自己株式取得状況の推移

取得期間	取得方法	取得株数 (千株)	取得価額 (百万円)
2018年5月11日～2018年6月7日	公開買付	4,039	6,308
2017年6月8日～2017年6月22日	信託方式による市場買付	450	525
2015年11月4日～2015年12月2日	公開買付	4,500	7,425
2014年9月3日～2015年6月23日	信託方式による市場買付	1,720	1,645

補足資料

5

2020年3月期 I Q：連結貸借対照表

	単位：百万円	2018年6月末	構成比	2019年6月末	構成比	増減額
流動資産		74,080	58.4%	80,068	60.0%	5,988
現金及び預金		32,248		28,935		▲3,312
商品		31,217		37,179		5,961
固定資産		52,665	41.6%	53,468	40.0%	802
有形固定資産		28,242		28,266		24
無形固定資産		1,435		3,179		1,743
投資その他資産		22,988		22,022		▲965
資産合計		126,746	-	133,536	-	6,790
流動負債		30,243	23.9%	27,967	20.9%	▲2,276
買掛金		10,106		8,591		▲1,514
1年以内返済予定の長期借入金		4,914		3,996		▲918
固定負債		28,608	22.6%	30,214	22.6%	1,605
長期借入金		19,022		20,676		1,654
負債合計		58,852	46.4%	58,181	43.6%	▲670
自己株式		▲6,834		▲0		6,834
純資産合計		67,893	53.6%	75,355	56.4%	7,461
負債純資産合計		126,746	-	133,536	-	6,790

5

2020年3月期 1Q : 連結損益計算書

単位：百万円	19.3月期				20.3月期			
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績
売上高	64,425	68,148	84,778	75,208	63,918			
(前期比)	104.9%	91.2%	99.6%	96.4%	99.2%			
売上総利益	29,093	30,360	32,365	29,953	29,728			
(前期比)	104.5%	99.6%	101.5%	102.0%	102.2%			
(売上総利益率)	45.2%	44.6%	38.2%	39.8%	46.5%			
販管費	25,368	26,763	26,753	27,218	27,126			
(前期比)	102.2%	102.7%	101.4%	98.4%	106.9%			
営業利益	3,724	3,596	5,612	2,734	2,602			
(前期比)	122.7%	81.3%	101.6%	162.4%	69.9%			

5

商材別売上高（会計期間）

単位：百万円	19.3月期	19.3月期	19.3月期	19.3月期	20.3月期	20.3月期	20.3月期	20.3月期
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績
リユース	25,421	25,071	28,936	27,237	26,530			
メディア系	13,278	13,260	13,651	13,982	12,914			
リユース系	12,142	11,810	15,284	13,254	13,615			
レンタル	15,508	16,782	15,130	14,866	14,784			
新品	15,575	17,804	31,401	24,437	13,736			
その他	7,922	8,491	9,310	8,666	8,867			
合計	64,425	68,148	84,778	75,208	63,918			

5

商材別売上総利益（会計期間）

単位：百万円	19.3月期		19.3月期		19.3月期		19.3月期		20.3月期		20.3月期		20.3月期	
	1Q	実績	2Q	実績	3Q	実績	4Q	実績	1Q	実績	2Q	実績	3Q	実績
リユース	14,198		13,872		16,064		14,615		14,827					
メディア系	5,556		5,781		5,814		5,801		5,427					
リユース系	8,641		8,091		10,250		8,813		9,400					
レンタル	9,420		10,483		9,260		9,122		9,361					
新品	2,462		2,803		4,014		3,165		2,379					
その他	3,014		3,202		3,025		3,049		3,160					
合計	29,093		30,360		32,365		29,953		29,728					
粗利率	45.2%		44.6%		38.2%		39.8%		46.5%					

将来の見通しに関する記述の注意

本資料に記載されている、当社グループに関する業績見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価ならびに業績や配当の見通し等といった将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての事実は、当社グループが現在入手している情報に基づく、現時点における期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上客観的には、不正確であったり、一般的な状況、天候、景気および消費動向の変化、消費者の嗜好変化等による潜在的リスクを含んでおり、将来その通りに実現するという保証はいたしかねます。



GEO HOLDINGS CORPORATION

企業理念：豊かで楽しい日常の暮らしを提供する

お問合せ 株式会社ゲオホールディングス 経営管理部

TEL：052-350-5711 FAX：052-350-5701

Email：info@geonet.co.jp